

令和5年度 秋期

情報処理技術者試験

情報処理安全確保支援士試験

本試験解答例

応用情報技術者

共通午前Ⅰ

データベーススペシャリスト

エンベデッドシステムスペシャリスト

プロジェクトマネージャ

システム監査技術者

情報処理安全確保支援士

TAC

CONTENTS

試験区分別に印刷される場合は下記のページ番号をご参照ください

応用情報技術者	03～06
共通午前Ⅰ	07
データベーススペシャリスト	08～14
エンベデッドシステムスペシャリスト.....	15～17
プロジェクトマネージャ.....	18～20
システム監査技術者	21～23
情報処理安全確保支援士	24～27

－ 掲載の解答例に関して －

- 注１ 下記試験は２０２３年１０月８日に情報処理推進機構（ＩＰＡ）より発表された解答を掲載しております。

・ 応用情報技術者	午前
・ 共通午前Ⅰ	
・ データベーススペシャリスト	午前Ⅱ
・ エンベデッドシステムスペシャリスト	午前Ⅱ
・ プロジェクトマネージャ	午前Ⅱ
・ システム監査技術者	午前Ⅱ
・ 情報処理安全確保支援士	午前Ⅱ

- 注２ 下記試験の解答例はＴＡＣが２０２３年１０月１２日時点で作成したものです。

・ 応用情報技術者	午後
・ データベーススペシャリスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ エンベデッドシステムスペシャリスト	午後Ⅰ
・ プロジェクトマネージャ	午後Ⅰ
・ システム監査技術者	午後Ⅰ
・ 情報処理安全確保支援士	午後

解答例は変更する可能性がありますので、最新の解答例はＴＡＣホームページにてご確認ください。

>>> ＴＡＣホームページアドレス：<https://www.tac-school.co.jp/>



- 注３ 下記試験の解答例が２０２３年１２月１９日に情報処理推進機構（ＩＰＡ）より発表される予定です。

・ 応用情報技術者	午後
・ データベーススペシャリスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ エンベデッドシステムスペシャリスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ プロジェクトマネージャ	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ システム監査技術者	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ 情報処理安全確保支援士	午後

詳細は情報処理推進機構（ＩＰＡ）ホームページをご確認ください。

>>> ＩＰＡホームページアドレス：<https://www.ipa.go.jp/shiken/index.html>

令和 5 年度 秋期 応用情報技術者試験 解答例

午前試験

問番号	正解	分野	問番号	正解	分野	問番号	正解	分野	問番号	正解	分野
問 1	ウ	T	問 21	ウ	T	問 41	イ	T	問 61	イ	S
問 2	エ	T	問 22	ウ	T	問 42	ウ	T	問 62	ア	S
問 3	ア	T	問 23	ア	T	問 43	ア	T	問 63	エ	S
問 4	ア	T	問 24	ア	T	問 44	ア	T	問 64	ウ	S
問 5	ウ	T	問 25	イ	T	問 45	エ	T	問 65	ア	S
問 6	ウ	T	問 26	エ	T	問 46	ウ	T	問 66	エ	S
問 7	イ	T	問 27	ア	T	問 47	エ	T	問 67	ア	S
問 8	ウ	T	問 28	ア	T	問 48	ア	T	問 68	ウ	S
問 9	ウ	T	問 29	イ	T	問 49	ア	T	問 69	イ	S
問 10	ア	T	問 30	ア	T	問 50	ア	T	問 70	ウ	S
問 11	イ	T	問 31	ウ	T	問 51	エ	M	問 71	エ	S
問 12	イ	T	問 32	イ	T	問 52	ウ	M	問 72	イ	S
問 13	イ	T	問 33	イ	T	問 53	ア	M	問 73	イ	S
問 14	エ	T	問 34	イ	T	問 54	エ	M	問 74	エ	S
問 15	エ	T	問 35	エ	T	問 55	ア	M	問 75	エ	S
問 16	エ	T	問 36	ウ	T	問 56	イ	M	問 76	イ	S
問 17	ア	T	問 37	ア	T	問 57	イ	M	問 77	エ	S
問 18	イ	T	問 38	ウ	T	問 58	ウ	M	問 78	エ	S
問 19	エ	T	問 39	ア	T	問 59	ウ	M	問 79	ア	S
問 20	エ	T	問 40	ア	T	問 60	イ	M	問 80	イ	S

分野の「T」はテクノロジ系,「M」はマネジメント系,「S」はストラテジ系の問題です。

令和5年度秋期 応用情報技術者

午後 解答例

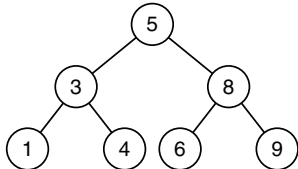
問1 (20点)

設問	予想配点	解答例	備考
設問1	各3点×2	(1) 誤送信されたメールの受信者が、DPWを用いてZIPファイルを復元する。	
		(2) PWメールと本文メールで異なるメールシステムを使用する。	
設問2	各2点×6	(1) 1.6	
		(2) a カ b オ c ウ d エ	
		(3) 暗号化と復号に要する時間を短くできるから	
設問3	2点	ア	

問2 (20点)

設問	予想配点	解答例	備考
設問1	各2点×5	(1) 各本部が組織を横断して連携するビジネス戦略とする。	
		(2) a 商品やサービスを独占販売する	
		b コンテンツマーケティング	
		(3) d 業務提携するサービス事業者	
		(4) c ウ	
設問2	各2点×2	(1) C, D, B, A	
		(2) ソリューション事例を登録する。	
	3点	(3) 有益な情報を探す時間を短縮し、適切なタイミングで顧客に提案することで失注を防ぐ。	
設問3	3点	e 15	

問3 (20点)

設問	予想配点	解答例	備考
設問1	各3点×2	ア n イ log n	
設問2	各2点×4	ウ ・h1 が 1 より大きい ・h1 が 2 に等しい	
		エ height(t.left.right) - height(t.left.left)	
		オ ・h1 が -1 より小さい ・h1 が -2 に等しい	
		カ height(t.right.left) - height(t.right.right)	
	4点	(2) 	
	2点	(3) キ log n	

この解答例の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

問 4 (20 点)

設問	予想配点	解答例				備考
設問 1	各2点×3	(1)	a	販売システム	b	生産システム
			c	会計システム		
	各1点×4	(2)	d	出荷情報	e	週次
			f	売上情報	g	月次
設問 2	3点(完答)	(1)	会社名	D社	システム名	販売システム
	3点	(2)	受注(EDI), 販売実績管理(月次), 請求(EDI)			
設問 3	4点		SaaSはオンプレミスと異なり, 機能の修正や追加が自由にできないから			

問 5 (20 点)

問3 (20点)								
設問	予想配点		解答例				備考	
設問 1	各2点×2		a	オ		b	エ	
設問 2	各2点×2		c	serv		d	w.x.y.z	
設問 3	各2点×3	(1)	設定項目	受信メールサーバ				
			設定内容	192.168.1.10				
	3点	(2)	エ					
		(3)	他ドメインのメールアドレス宛のメールは、N社のメールサーバに中継する。					
設問 4	3点		e	192.168.0.0				

問 6 (20 点)

設問	予想配点	解答例				備考
設問 1	2点	a	↓			
設問 2	各2点×7	(1)	b	引当情報	c	引当予定
		(2)	d	日		
		(3)	e	引当予定	f	在庫
			g	入荷明細	h	入荷済数
設問 3	各2点×2	i	OVER	j	ORDER BY	

問 7 (20 点)

設問	予想配点	解答例				備考
設問 1	各3点×2	(1)	収穫に適したトマトが検出されなかった			
		(2)	イ			
設問 2	各3点×2	(1)	収穫トレーの空き領域がなくなった			
		(2)	収穫に適したトマトの個数			
	2点	(3)	a	メイン		
設問 3	3点		ウ			
設問 4	3点		5.90 ミリ秒			

問8（20点）

設問	予想配点	解答例					備考		
設問 1	各2点×2	a	イ			b	エ		
設問 2	各2点×3	(1)	c	エ			d	ウ	
		(2)	ア						
設問 3	各2点×2	(1)	処理2, 処理7						
		(2)	e	ウ					
	各3点×2	(3)	・サーバから応答がなければ例外処理を行う。 ・サーバから応答がなければ処理を中断する。						
		(4)	460 ミリ秒						

問9（20点）

設問		予想配点		解答例		備考
設問 1	各3点×2	(1)	a	頻繁なスコープの変更が想定される		
		(2)	b	・ 自社だけでは習得するのに時間がかかる ・ 機械学習技術の経験やノウハウがない		
設問 2	各2点×4	(1)	c	Q		
			理由	定着化と使用性の評価が十分だから		
		(2)	イ			
		(3)	レジリエンスを高める余地があるかを確認する。			
設問 3	各3点×2	(1)	マーケティング業務の専門家で、多様な意見を理解できるから			
		(2)	顧客関係性の強化の達成状況			

問10（20点）

設問	予想配点	解答例				備考	
設問 1	3点	ウ					
設問 2	各3点×3	(1)	a	ア			
		(2)	エスカレーションされたインシデントは内部供給者が対応するから				
		(3)	サービスデスクに連絡し、利用者に確認する時間を考慮する必要があるから				
設問 3	各4点×2	(1)	Y社に問合せ件数を提示する期限を過ぎているから				
		(2)	サービスデスクのサポート時間帯でなくても、利用者自身で疑問を解決できる。				

問11（20点）

設問	予想配点	解答例						備考	
設問 1	各2点×3	a	カ	b	イ	c	オ		
設問 2	各2点×2	①	東・西センターが同時にサイバー攻撃を受ける。						
		②	システム障害の影響が東・西センターの両方に及ぶ。						
設問 3	各2点×2	d	サーバの処理能力を増強						
		e	バックオフィス系サーバ						
設問 4	3点	f	ネットワークの切替えを含む必要な環境設定						
設問 5	3点	社内の業務とコミュニケーションが円滑に行えない。							

この解答例の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

令和 5 年度 秋期 プロジェクトマネージャ試験
データベーススペシャリスト試験
エンベデッドシステムスペシャリスト試験 解答例
システム監査技術者試験
情報処理安全確保支援士試験

午前Ⅰ試験

問番号	正解
問 1	ア
問 2	ア
問 3	ウ
問 4	ウ
問 5	エ
問 6	ア
問 7	ア
問 8	イ
問 9	ア
問 10	イ

問番号	正解
問 11	エ
問 12	ウ
問 13	ウ
問 14	ア
問 15	ア
問 16	エ
問 17	ア
問 18	エ
問 19	ア
問 20	イ

問番号	正解
問 21	イ
問 22	ウ
問 23	イ
問 24	エ
問 25	エ
問 26	イ
問 27	ウ
問 28	イ
問 29	イ
問 30	ア

令和 5 年度 秋期 データベーススペシャリスト試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	エ
問 2	ウ
問 3	エ
問 4	イ
問 5	エ
問 6	ア
問 7	ウ
問 8	ウ
問 9	エ
問 10	ア

問番号	正解
問 11	ウ
問 12	エ
問 13	ウ
問 14	イ
問 15	イ
問 16	エ
問 17	エ
問 18	エ
問 19	ウ
問 20	エ

問番号	正解
問 21	エ
問 22	エ
問 23	イ
問 24	エ
問 25	エ

データベーススペシャリスト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (11 点: (1)3 点, (2)正規形 2 点, 根拠 2 点, 関係スキーマ 4 点)

(1) {社員コード, 社員所属組織コード}, {社員コード, 社員所属組織名}

(2) (正規形) 第 1 正規形

(根拠) 属性が全て単一値をとり, 社員氏名は候補キーの一部である社員コードに対して部分関数従属している。

(別解) 属性が全て単一値をとり, 社員所属組織名は候補キーの一部である社員所属組織コードに対して部分関数従属している。

(別解) 属性が全て単一値をとり, 社員所属上位組織コードは候補キーの一部である社員所属組織コードに対して部分関数従属している。

(関係スキーマ)

社員(社員コード, 社員氏名)

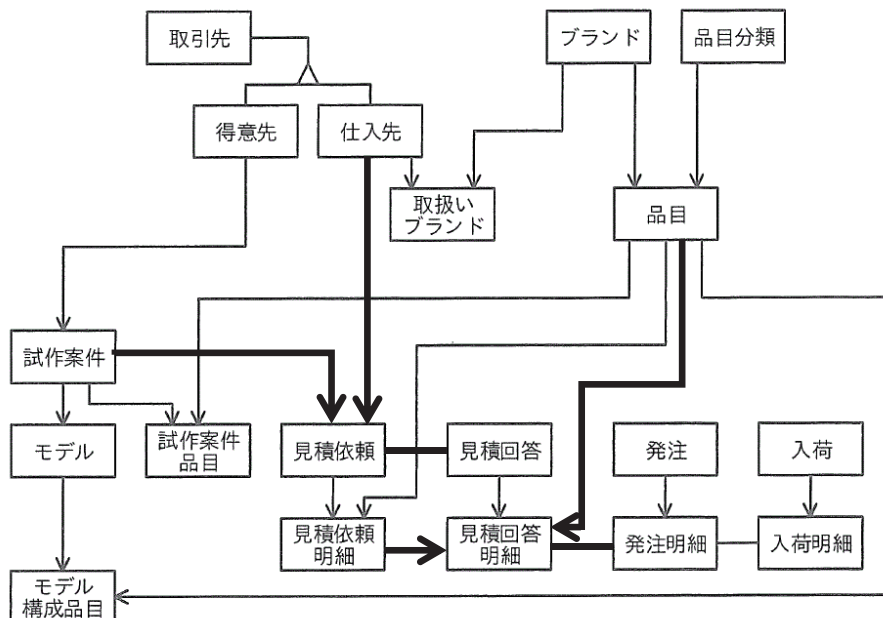
組織(組織コード, 組織名, 上位組織コード)

役職(役職コード, 役職名)

社員所属(社員コード, 社員所属組織コード, 社員役職コード, 報告先社員コード)

設問 2 (21 点: (1)1 点×6, (2)3 点×5)

(1)



この解答例の著作権は TAC (株)のものであり, 無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

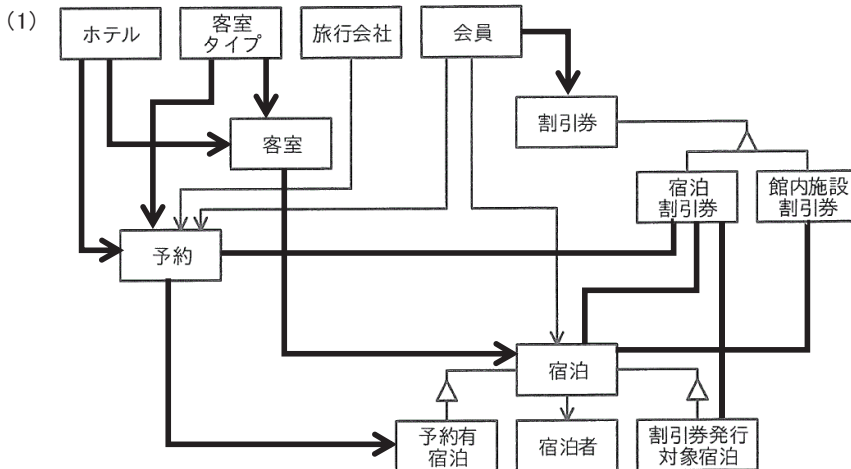
- (2) a : 試作案件番号
 b : 得意先支給数量, 必要調達数量
 c : 試作案件番号, 製品用途, 取引先コード
 d : 見積依頼番号, 調達条件, 提案理由, メーカー型式番号
 e : 見積回答明細番号, 見積依頼番号, 発注ロット数

設問 3 (18 点: (1) (a) 3 点, (b) 2 点 × 2, (2) (a) 3 点, (b) 2 点 × 4)

- (1) (a) “品目分類”自身への 1 対多のリレーションシップを追加する。
 (b) (属性を追加する関係名) 品目分類
 (追加する属性名) 上位品目分類コード
 (2) (a) “発注明細”から“入荷明細”へのリレーションシップを, 1 対 1 から 1 対多に変更する。
 (b) (属性を追加する関係名) 発注明細 (追加する属性名) 発注残ロット数
 (属性を追加する関係名) 入荷明細 (追加する属性名) 入荷ロット数

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (19 点: (1) 1 点 × 11, (2) 2 点 × 4)



- (2) ア : 客室タイプコード
 イ : 旅行会社コード, ホテルコード, 客室タイプコード, 宿泊割引券番号
 ウ : ホテルコード, 客室番号, 館内施設割引券番号, 宿泊割引券番号
 エ : 予約番号

設問 2 (10 点: (1) 1 点 × 4, (2) 1 点 × 6)

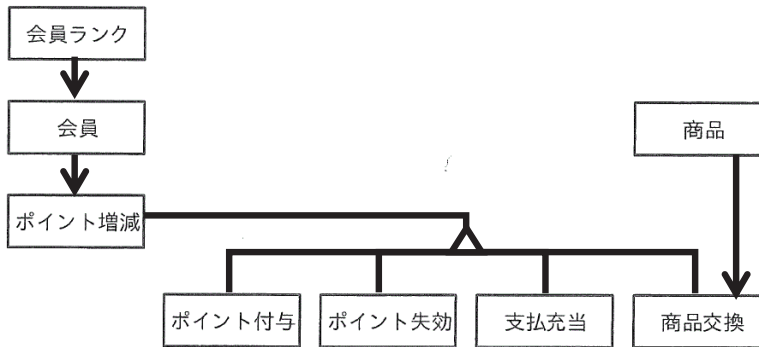
- (1) a : 予約
 b : 会員番号
 c : 予約区分 (とした場合) d : 自社サイト予約
 旅行会社コード (とした場合) d : 空値
 (2) e : 割引券ステータス
 f : 未利用
 g : 割引券区分
 h : 宿泊割引券 (e と f の組, g と h の組で順不同)
 i : 会員番号
 j : 会員番号

この解答例の著作権は TAC (株) のものであり, 無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co., Ltd. 2023

設問 3 (21 点:(1)1 点×4, (2)2 点×7, (3)(a)2 点, (b)1 点)

(1)



(2) オ : 必要累計泊数, ポイント付与率

カ : 交換必要ポイント数, 商品名

キ : ポイント増減区分, ポイント増減数, ポイント増減時刻

ク : 有効期限年月日, 未利用ポイント数

ケ : 失効後メール送付日時

コ : 支払充当区分

サ : 商品コード, 個数

(3) (a) 未利用ポイント数が0でない。 (別解) 未利用ポイント数が0より大きい。

(b) その時点で有効期限年月日が近いもの順

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (23 点:(1)3 点×2, (2)5 点, (3)2 点×3, (4)2 点×3)

(1) a : 圃場 ID, 農事日付, AVG (分平均温度)

b : 圃場 ID, 農事日付

(2) 翌日の日出時刻が, 当日の日出時刻より早いことがあるから

(3) c : 14.0

d : 15.0

e : 16.0

(4) f : 日平均温度

g : 圃場 ID

h : 農事日付

設問 2 (27 点:(1)5 点, (2)2 点, (3)5 点, (4)5 点, (5)2 点×5)

(1) ハッシュ区分では, 新たな圃場の追加による区分の追加が困難になるから

(2) ア : 9000

(3) 副次索引が“観測”テーブルの非主キー列に設定されているから

(4) 農事日付の 12/31 の終了は, 元旦の日出時刻の 1 分前だから

(5) イ : ①

ウ : ④

エ : ①

オ : ⑤

カ : ②

この解答例の著作権は TAC (株)のものであり, 無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

【午 後 II】

問 1 (配点 100 点)

設問 1 (19 点: (1)4 点, (2)3 点×5)

- (1) a : 商品を生産するのは生産拠点だけである。
 (2) b : ① ④
 c : ① ② ③
 d : ③
 e : ② ④
 f : ① ③ ④

設問 2 (41 点: (1)4 点×2, (2)2 点×6, (3)3 点×4, (4)3 点, (5)3 点×2)

- (1) (累計出荷数量) 毎月, 同じ出荷量で商品が出荷されている。
 (移動累計出荷数量) 当月と前年同月を比較すると, 出荷量が減少している。
 (2) ア : 23
 イ : 11 行前の行
 ウ : 現在の行
 エ : 最初の行
 オ : 現在の行
 カ : 12
 (3) キ : SUM(SM.出庫数量)
 ク : GROUP BY T.棚#
 ケ : ORDER BY 出庫回数 DESC
 コ : 出庫回数順位, MAX(出庫回数順位)
 (4) (307) と (604) の組
 (5)

テーブル名	操作
棚別在庫	行の挿入 ・ 行の更新
倉庫内移動	行の挿入 ・ 行の更新

設問 3 (40 点: (1)2 点×6, (2)4 点×2, (3)5 点, (4)2 点×3, (5)3 点×3)

- (1) g : 210
 h : 85
 i : 260
 j : 85
 k : 150
 l : 90
 (2) (a) 適用区分が‘赤伝’又は‘黒伝’で, 受払年月日が最小の行
 (b) (a)と受払年月日と適用区分が等しい入荷又は出荷のレコード
 (3) 同一のテストデータに対して, 計数格納処理の案 1 の方式, 案 2 の方式において, 同様の結果となるかどうかを確認する。

この解答例の著作権は TAC (株)のものであり, 無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

- (4) m : 低下
n : 出荷
o : 単価

(5)

追加エンティティタイプ名	外部キーの属性名	参照エンティティタイプ名
受払明細	年月, 拠点#, 商品#	残高集計
受払残高	年月, 拠点#, 商品#, 受払#	受払明細
	年月, 拠点#, 商品#, 基受払#	受払明細
残高集計	年月	月締め
	拠点#, 商品#	在庫

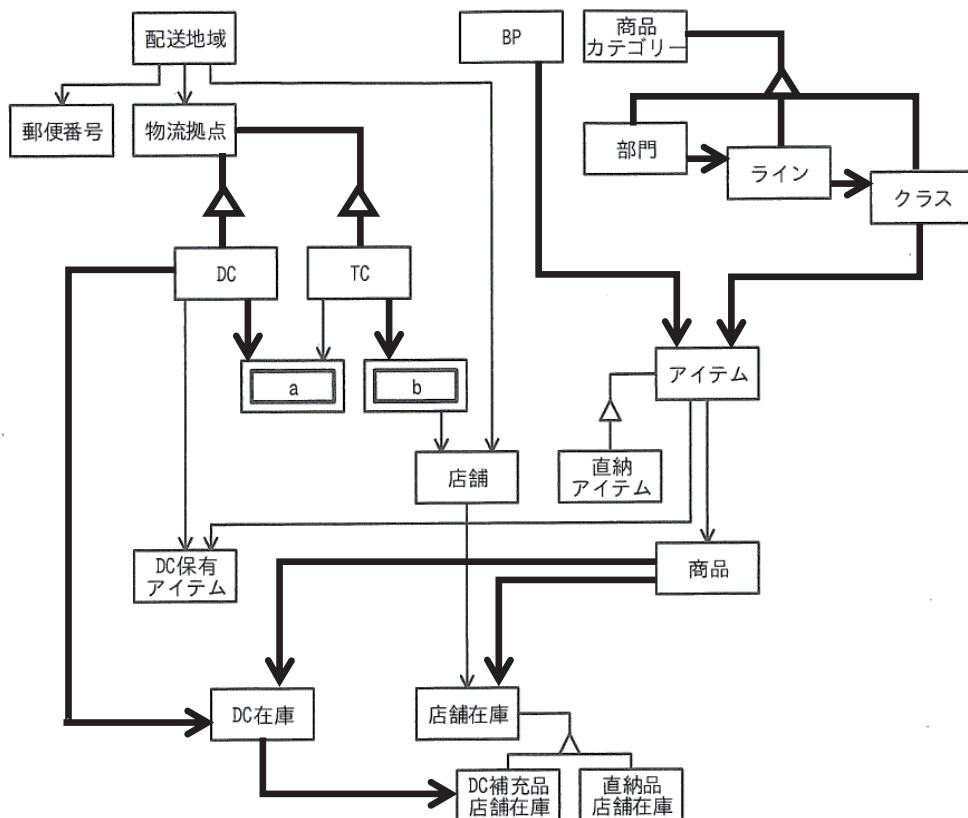
問 2 (配点 100 点)

設問 (100 点:(1)3 点×2, (2)1 点×13, (3)1 点×6, (4)3 点×25)

(1) a : 幹線ルート

b : 支線ルート

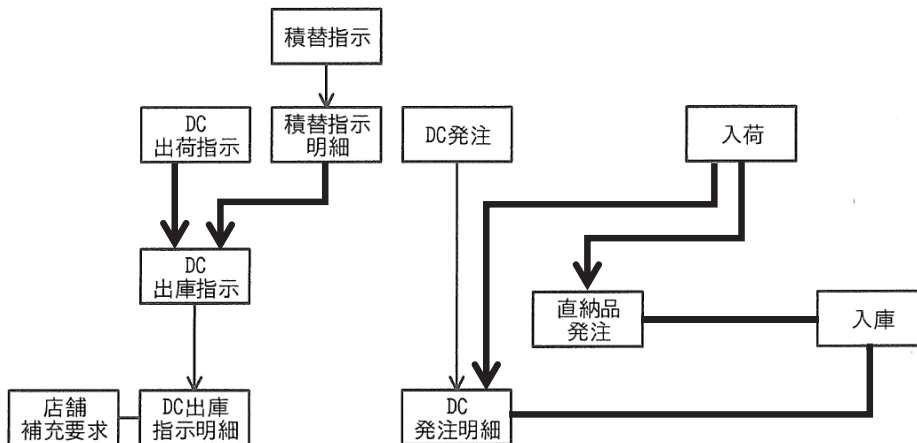
(2)



この解答例の著作権は TAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

(3)



(4) ア : 配送地域コード

イ : DC 機能フラグ, TC 機能フラグ, 配送地域コード

ウ : DC 拠点コード, 倉庫床面積

エ : TC 拠点コード, 委託先物流業者名

オ : DC 拠点コード, TC 拠点コード, 幹線 LT

カ : TC 拠点コード, 支線ルートコード, 車両番号

キ : TC 拠点コード, 支線ルートコード, 配送順, 支線 LT

ク : カテゴリーレベル

ケ : 部門カテゴリーコード

コ : ラインカテゴリーコード

サ : BPコード, 温度帯, クラスカテゴリーコード, 直納品フラグ

シ : アイテムコード, 補充 LS

ス : JANコード, 在庫数, 発注点在庫数, DC 納品 LT, DC 発注 LS

セ : 在庫数, 発注点在庫数

ソ : DC 補充品, DC 拠点コード

タ : 直納 LT, 直納品発注 LS

チ : 出庫指示年月日, 出荷指示番号, 積替指示番号, 配送先店舗コード

ツ : 店舗コード, 補充要求年月日時刻, DC 補充品, JANコード, 出庫指示数

テ : 出荷指示年月日, TC 拠点コード

ト : 積替指示年月日, TC 拠点コード, 支線ルートコード

ナ : BPコード, 発注年月日

ニ : JANコード, 入荷番号, 入庫番号

ヌ : 店舗コード, 補充要求年月日時刻, JANコード, 入荷番号, 入庫番号

ネ : 入荷年月日

ノ : JANコード

以上

この解答例の著作権は TAC (株)のものであり, 無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

令和 5 年度 秋期 エンベデッドシステムスペシャリスト試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	イ
問 2	ウ
問 3	イ
問 4	ア
問 5	イ
問 6	イ
問 7	エ
問 8	エ
問 9	エ
問 10	エ

問番号	正解
問 11	エ
問 12	ア
問 13	エ
問 14	イ
問 15	イ
問 16	エ
問 17	イ
問 18	エ
問 19	ウ
問 20	エ

問番号	正解
問 21	ア
問 22	ア
問 23	ウ
問 24	イ
問 25	ア

エンベデッドシステムスペシャリスト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 100 点)

設問 1 (26 点:(1)(a)7 点(b)6 点, (2)(a)7 点(b)6 点)

- (1) (a) 雨や粉塵で空気中の見通しが悪いときでも, 検知できるようにするため
- (b) L5G 通信異常
- (2) (a) 32%
- (b) 測位補強データ

設問 2 (39 点:(1)6 点, (2)(a)6 点(b)6 点, (3)7 点, (4)(a)7 点(b)7 点)

- (1) 45 度
- (2) (a) AC ブルドーザが向いている方位
- (b) 車体 IMU で 3 軸加速度から傾きを求めて補正する。
- (3) ブレード IMU で計測したブレードの動きを加味して測位する。
- (4) (a) a : 3D-LiDAR で得た点群データを用いて, 数均しの仕上がりを確認し, 完成した
- (b) 排土位置で土砂山を押土した。

設問 3 (35 点:(1)(a)7 点, (b)5 点×2, (2)(a)6 点(b)6 点×2)

- (1) (a) 携帯電話通信事業者の通信回線障害
- (b) 非常停止命令, 測位補強データ
- (2) (a) 自己位置推定
- (b) b : 計測方法
- c : 計測精度 (順不同)

問 2 (配点 100 点)

設問 1 (42 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)(a)3 点×5, (b)5 点, (4) (a)5 点(b)5 点)

- (1) 5.6 秒
- (2) 1,944.0G バイト
- (3) (a) a : 撮影準備
- b : ドローン情報
- c : 訓練準備完了
- e : 平均速度
- f : 算出できない
- (b) d : データ収集装置を介して指定した選手のウォッチに送信する
- (4) (a) 訓練終了位置でホバリングをする。
- (b) 訓練開始前にデータ収集装置から受信した飛行ルートを, 速度を維持して飛行する。

設問 2 (33 点:(1)(a)4 点×2, (b)5 点, (c)5 点, (2)(a)5 点(b)5 点, (3)5 点)

- (1) (a) 音声送信指示, 選手分析送信指示
- (b) g : 飛行ルート上の間隔が 300m
- (c) h : 訓練開始から 1 時間 30 分が経過
- (2) (a) 選手位置情報が, 1km 単位で区切られた区間に入った直後の位置であること
- (b) フォームタスクから通知を受けたタイミング
- (3) 複数のフォーム分析を順次処理すること

設問 3 (25 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点, (4)完答で 7 点)

- (1) i : “飛行計画”を送信する
- (2) 後続ドローンタスクで“アップ飛行計画”の生成に利用させること
- (3) クローズアップ選手が変更された場合
- (4) (タスク名) 訓練タスク
(変更内容) 注視選手が存在するとき, 後続ドローンタスクに通常の飛行計画を通知しない

以上

令和 5 年度 秋期 プロジェクトマネージャ試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	イ
問 2	イ
問 3	ア
問 4	ア
問 5	エ
問 6	イ
問 7	イ
問 8	ア
問 9	ウ
問 10	ア

問番号	正解
問 11	ア
問 12	イ
問 13	エ
問 14	イ
問 15	ア
問 16	エ
問 17	ア
問 18	ウ
問 19	ウ
問 20	ウ

問番号	正解
問 21	イ
問 22	ウ
問 23	ア
問 24	エ
問 25	イ

プロジェクトマネージャ 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (27 点:(1)7 点, (2)8 点, (3)7 点, (4)5 点)

- (1) 開発の成果を確認しながら修正していく進め方に適しているから
- (2) メンバーが自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態
- (3) メンバーがいずれも担当分野での経験やノウハウが豊富な状況
- (4) メンバーが自発的にチャレンジできるようにするため

設問 2 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) 提供する具体的な体験価値をメンバー全員で共有し価値の共創力を高める。
- (2) 早期の収益を意識せず、失敗から学びながら成長して目標達成できる環境

設問 3 (7 点)

全員で知見や体験を共有し、新たな体験価値を迅速に創出する。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

要件や契約条件変更の活動の負荷で、顧客価値の変化に注力できなくなる。

設問 2 (8 点)

顧客との契約において、S 社が納期までに完成責任を果たすのが困難な状況

設問 3 (5 点)

S 社は A 社と対等な共創関係になりたい。

設問 4 (29 点:(1)7 点, (2)5 点, (3)3 点×4, (4)5 点)

- (1) 発注者の優越的立場が受託者に悪影響を及ぼさないようにすること
- (2) リスクの顕在化の予兆を早期に検知する効果
- (3) a : OODA
b : 回復力
c : 成果完成
d : インセンティブ・フィー
- (4) モチベーションを高め、チームの士気を高める効果

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

ベテラン技術者の抵抗を抑えて知見やノウハウについて協力を得ること

この解答例の著作権は TAC(株) のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

設問 2 (26 点:(1)5 点, (2)7 点, (3)7 点×2)

- (1) 全員にプロジェクトへの理解と参加意欲を持たせること
- (2) 予兆検知システムの開発に, Y 社のアルゴリズムを適用する。
- (3) (ベテラン技術者) 経験から得た予兆を検知する知見や交換・修理のノウハウの提供
(中堅技術者) 早い段階でのシステムの仕様の理解と点検業務の担当

設問 3 (16 点:(1)4 点×2, (2)8 点)

- (1) (要件定義フェーズ) スコープが不明確で作業量を見積もれない。
(開発フェーズ) スコープが明確で作業量の見積りが可能
- (2) プラントの特性を把握した交換・修理のノウハウを継承可能にすること

以上

この解答例の著作権は TAC(株) のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

令和 5 年度 秋期 システム監査技術者試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	エ
問 2	イ
問 3	エ
問 4	ア
問 5	エ
問 6	エ
問 7	エ
問 8	ア
問 9	ウ
問 10	エ

問番号	正解
問 11	ア
問 12	ウ
問 13	エ
問 14	エ
問 15	イ
問 16	ア
問 17	ウ
問 18	イ
問 19	イ
問 20	ア

問番号	正解
問 21	ウ
問 22	エ
問 23	エ
問 24	イ
問 25	ウ

システム監査技術者 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

非保持化前の画像データを社内ネットワークから切り離れた環境で保存する。

設問 2 (20 点:(i)10 点,(ii)10 点)

(i) a:カード情報保護対策

(ii) 改めて、A 社の情報セキュリティ規程に基づく B 社の情報セキュリティ評価を実施する。

設問 3 (10 点)

検知対象を絞るので、検知対象から外れた不正なパケットが検知されず通過してしまい、攻撃が防げないリスク
(別解) 詳細なシグネチャ定義から外れた不正パケットは検知できないため、不正アクセスの検知漏れが生じる
リスク

設問 4 (10 点)

使用中のコンテンツファイルのリストを入手し、改ざん監視対象ファイルリストと突合した。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

テスト実施やドキュメント作成等の作業が加わり、期間やコストが増す。

設問 2 (6 点)

開発するアプリの機能

設問 3 (6 点)

簡易で高い可用性を求められないアプリ開発の場合

(別解) 開発標準による管理が過剰となる簡易なアプリの場合

設問 4 (10 点)

A:開発用 ID の付与や権限設定が適切でなく、本番環境データが漏えいする。

設問 5 (10 点)

作成基準を適用した設計ドキュメントを用いて、開発担当者以外の者が支障なく保守できるか

設問 6 (8 点)

操作ログが改ざん・消去されないよう保護されていること

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

異動日前に、本来は閲覧権限のない従業員の処遇情報が閲覧可能となるリスク

設問 2 (8 点)

異動管理表作成のボトルネックとなる作業の効率化策が検討されているか

(別解) 異動管理表作成時の非効率な手作業入力部分が自動化可能か検討しているか

設問 3 (8 点)

受講実績表のデータが漏れなく受講歴に反映されたことを確かめているか

設問 4 (10 点)

新設資格の追加登録時の命名ルールの制定や、適時に資格マスターへの設定を推進する。

(別解) 新設資格が追加登録された場合、資格名称を決定し、速やかに資格マスターに設定する。

設問 5 (10 点)

管理者が自らの評価を上げるために DX 人材の選定基準に適合しない者を登録するリスク

設問 6 (6 点)

新たに各職場で行うことになった作業を加味して算定しているか

以上

令和 5 年度 秋期 情報処理安全確保支援士試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	イ
問 2	ア
問 3	ウ
問 4	ア
問 5	ア
問 6	エ
問 7	ウ
問 8	イ
問 9	ウ
問 10	イ

問番号	正解
問 11	エ
問 12	イ
問 13	エ
問 14	イ
問 15	エ
問 16	イ
問 17	イ
問 18	エ
問 19	エ
問 20	ア

問番号	正解
問 21	ウ
問 22	ウ
問 23	ウ
問 24	ウ
問 25	ア

情報処理安全確保支援士 解答例

【午 後】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (10 点:(1)4 点, (2)6 点)

- (1) イ
- (2) 会員の投稿内容を HTML エスケープしてから画面出力する。

設問 2 (8 点)

複数のレビューにスクリプトを分割し、投稿間の記述をコメントにして連続投稿し、一つのスクリプトにする。

設問 3 (24 点:(1)8 点, (2)8 点, (3)8 点)

- (1) 会員プロフィール設定ページにアクセスして取得したトークンを用いて、アイコン画像として cookie をアップロードする。
- (2) 会員が投稿したレビューに表示されるアイコン画像をダウンロードし、テキストファイルとして読み込む。
- (3) 取得したセッション ID の会員になりすまして商品の購入やレビューの投稿ができる。

設問 4 (8 点)

同一生成元ポリシーにより、異なるオリジンのリソースへのアクセスを制限する。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (17 点:(1)2 点×2, (2)4 点×2, (3)5 点)

- (1) a : 利用者 ID
b : パスワード
- (2) c : このサーバ証明書は、信頼された認証局から発行されたものではない。
d : このサーバ証明書のドメイン名が、アクセス先のドメイン名と一致していない。
- (3) https に変換して接続し、TLS ハンドシェイクでサーバ証明書のモモン名と B サービスの FQDN が一致するか検証する。

設問 2 (7 点:(1)5 点, (2)2 点)

- (1) 宛先に私用メールアドレスを指定して承認申請を行い、外部共有リンクを取得する。
- (2) e : MAC アドレス

設問 3 (26 点:(1)2 点, (2)2 点, (3)4 点, (4)5 点, (5)5 点, (6)2 点, (7)完答 3 点×2)

- (1) RADIUS
- (2) f : クライアントの秘密鍵
- (3) g : 漏えいしないように安全に管理
- (4) クライアント証明書を個人所有 PC に格納して不正利用することを防止できるから
- (5) 来客用無線 LAN からインターネットへの通信時の送信元 IP アドレスは、a1.b1.c1.d1 以外のグローバル IP アドレスに変換する。
- (6) h : DNS

- (7) (表 3) 1
(表 4) 1, 4

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (完答 4 点)

イ, ウ, エ

設問 2 (21 点:(1)5 点, (2)2 点, (3)2 点, (4)5 点, (5)5 点, (6)2 点)

- (1) Uさんが偽サイトに入力した認証情報と TOTP を用いてクラウド管理サイトに直ちにログインする。
- (2) ア
- (3) イ
- (4) フロントエンドから CI デモンへの通信を監視しシークレットを窃取する。
- (5) 認証要求に対する署名検証時に、オリジンが正規のオリジンと一致することを確認する。
- (6) ア

設問 3 (25 点:(1)5 点, (2)5 点, (3)5 点, (4)5 点×2)

- (1) コード署名を付与した不正な P アプリを J ストアにアップロードして利用者に配布する。
- (2) P 社の認証用 API キーを削除する。
- (3) ID ベースの認証を行い、不正使用を防ぐ。
- (4) (影響) 従来の P アプリが起動できなくなる。
(対応) P アプリを再インストールする。

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (15 点:ア 完答 4 点, イ 3 点, ウ 3 点, エ 5 点)

ア : 1, 8, 10, 11, 12, 13

イ : (大) ・ 中 ・ 小

ウ : A ・ B ・ (C) ・ D

エ : G 百貨店で、S サービスのログインを許可するアクセス元 IP アドレスを、W 社など業務に S サービスの利用が必要な会社の IP アドレスのみに制限する。

設問 2 (27 点:(1)4 点, (2)い 5 点, う 完答 4 点, え 3 点, お 3 点, か 3 点, き 5 点)

- (1) あ : 配送に関する G 百貨店からのメールを装い、ランサムウェアを添付した標的型攻撃メールを W 社の配送管理課員宛てに送信する。
- (2) い : 配送管理課員が添付ファイルを開き、配送管理用 PC がランサムウェアに感染する。配送管理用 PC からアクセスできる S サービスの Z 情報が暗号化され、その前に窃取された Z 情報が W 社外の PC などに保存される。

う : 1, 2, 5, 9

え : (大) ・ 中 ・ 小

お : 高 ・ 中 ・ (低)

か : A ・ B ・ (C) ・ D

き : W 社で、メール SaaS の迷惑メールのブロックオプションを有効にし、標的型攻撃に対する訓練を実施する。

設問 3 (8 点:完答 4 点×2)

この解答例の著作権は TAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

a : 1, 5, 10, 12

b : 1, 2, 3, 12

以上

この解答例の著作権はTAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

2024年春期合格目標 高度試験・情報処理

安全確保支援士試験コース別カリキュラム一覧

初 応用情報技術者試験合格レベルの方で初めて高度試験を受験される方 **経** 受験経験者・学習経験者対象

NW ネットワークスペシャリスト

講義ベース:週 1~2 回	11月~	12月~	2024年1月~	3月~	4月~
初 本科生・本科生プラス 全19回	午前I対策 4回	専門知識対策講義 6回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
初 本科生(午前I試験免除) 全15回	—	専門知識対策講義 6回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
経 上級コース 全9回	—	—	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 2回

コース詳細



SC 情報処理安全確保支援士

講義ベース:週 1~2 回	11月~	12月~	2024年1月~	3月~	4月~
初 本科生・本科生プラス 全23回	午前I対策 4回	専門知識対策講義 10回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
初 本科生(午前I試験免除) 全19回	—	専門知識対策講義 10回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
経 上級コース 全9回	—	—	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 2回

コース詳細



ST ITストラテジスト

講義ベース:週 1~2 回	11月~	12月~	2024年1月~	3月~	4月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
初 本科生(午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 1回

コース詳細



SA システムアーキテクト

講義ベース:週 1~2 回	11月~	12月~	2024年1月~	3月~	4月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
初 本科生(午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 1回

コース詳細



SM ITサービスマネージャ

講義ベース:週 1~2 回	11月~	12月~	2024年1月~	3月~	4月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
初 本科生(午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 1回

コース詳細



計画的な学習が大事！
学習のアドバイス

午前試験

細切れの時間でもOK!
すきま時間も活用しよう

午前I試験では共通的な知識、午前II試験では受験分野の専門知識が問われます。通勤・通学のすきま時間等も活用しながら、過去問演習では間違い選択肢についても説明ができるような学習を心がけましょう。



午後試験

最低でも1時間以上のまとまった学習時間を確保して机に向かおう

午後試験では、解答時間や本試験の時間を意識した学習が必要となるため、すきま時間や数十分単位での学習はおすすめできません。学習時間をきちんと確保できるように予めスケジュールを立てておき、腰を据えた学習をしましょう。



午後II試験・午後試験の出題形式

午後II試験・午後試験の出題形式①

記述式

長文の事例を読み、
30字〜50字で解答する形式

記述式となる試験区分(春期)

- 情報処理安全確保支援士
- ネットワークスペシャリスト



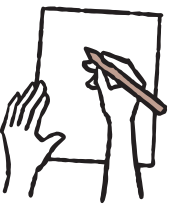
午後II試験の出題形式②

論述式

問題文で与えられたテーマに基づき、おおよそ2,000字程度で論述する形式

論述式となる試験区分(春期)

- ITストラテジスト
- システムアーキテクト
- ITサービスマネージャ



Q&A

高度試験についてよくある質問

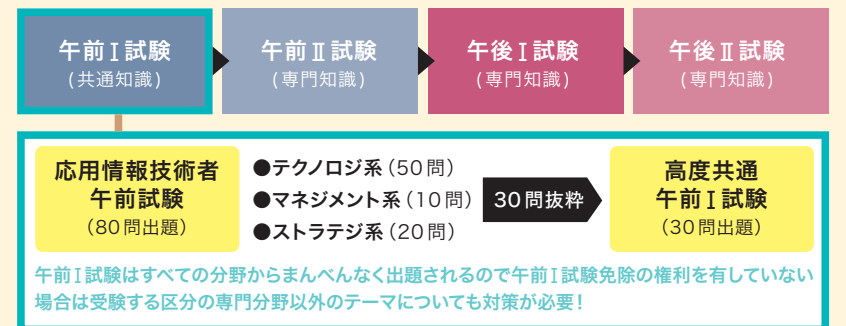
Q. 応用情報技術者試験に合格したのですが、どの高度試験を受験しようか迷っています。

A. 応用情報技術者試験学習時の得意分野や本試験で高得点だった分野を選択することをおすすめします。学習で培った知識をそのまま活かすことができ、大きなアドバンテージになります。他にもご自身の業務との関連性のある分野やこれからスキルを向上させたい分野などを選択するとよいでしょう。

応用情報技術者(午後試験)		対応する高度試験
問1 情報セキュリティ	→ SC	情報処理安全確保支援士
問2 経営戦略	→ ST	ITストラテジスト
問3 プログラミング	→	該当なし
問4 システムアーキテクチャ	→ SA	システムアーキテクト
問5 ネットワーク	→ NW	ネットワークスペシャリスト
問6 データベース	→ DB	データベーススペシャリスト

応用情報技術者(午後試験)		対応する高度試験
問7 組込みシステム開発	→ ES	エンベデッドシステムスペシャリスト
問8 情報システム開発	→ SA	システムアーキテクト
問9 プロジェクトマネジメント	→ PM	プロジェクトマネージャ
問10 サービスマネージメント	→ SM	ITサービスマネージャ
問11 システム監査	→ AU	システム監査技術者

高度試験の出題内容(一例)



Q. 情報処理技術者試験に関する学習は初めてですが、いきなり高度試験の対策からはじめてもよいのでしょうか?

A. レベルに合った試験からはじめて、ステップアップしていくことをおすすめします。その理由は午前I試験にあります。高度試験・情報処理安全確保支援士試験の午前I試験は高度共通試験として実施され、試験区分を問わず、共通の問題が出題されます。出題内容は応用情報技術者試験の午前試験問題の抜粋です。受験区分の専門分野以外にも出題されるため、午前I試験突破のためには必然的に応用情報技術者試験の午前試験合格レベルの知識が必要になります。